

「浙江大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学経済学部経済経営学科 3 年古賀裕也

1

今回のプログラムに参加したことで私が最も成長したのは、中国語のリスニングおよびスピーキング力です。

リスニング力は、授業がほぼ中国語のみで行われたことにより鍛えられました。プログラム前まで日本語での講義スタイルしか経験したことがなかった私は、最初ネイティブの教師による早いスピードの授業に全く付いていくことができませんでした。そこで私は授業を全て録音し、授業後に内容を聞き取れるまで徹底的に復習しました。この努力を継続したことにより、徐々に教師の言うことが少しずつ理解できるようになりました。

スピーキング力は、外出先で多くの中国人と話す機会を持ったことで向上しました。初め私は、中国語で話すのは少し自信がなく英語で対応していたのですが、このような機会に中国語を試さないのは勿体無いと思い、途中から出来るだけ中国語を使用するようにしました。発音は正確ではなくともボディランゲージを通して自分の言いたいことが伝わる事が多く、楽しく会話することができました。

2

中国での経験は、想像以上に刺激的で楽しいものでした。特に驚いたのが、中国の都市のスケールの大きさです。プログラム期間中何度か郊外へ行くことがあったのですが、高速道路でどこまで行っても高層ビルやマンションが立ち並んでいることには驚きました。少し都心部から離ればのどかな田園地帯が広がっている日本で育った私にとって、これはかなり衝撃でした。また電動バイクには何度も乗れかけました。歩行ゾーンとバイク走行ゾーンの区別が曖昧であり、音もなく近づいてくるのでかなり怖かったです。

3

プログラム内容としては、平日午前中に授業があり、午後はフリーでした。フリーの日には浙江大学のアシスタントの方々が観光地や博物館に連れて行ってくださることがあり、大変ありがたかったです。この中で特に印象に残ったのは、中国茶に関する博物館に訪問した時です。そこでは様々な種類のお茶を飲ませて頂き、どのお茶もとても美味しく非常に良い経験でした。

4

二週間は本当にあっという間であり、授業や生活に慣れてきたところで帰国の日になってしまいました。今後より長期にわたって中国への留学をしたいと思いました。

現在私は就活中ですが、それが終われば半年ほどの留学を考えています。さらに将来的には中国で駐在する仕事に就くことも視野に入れていきます。